

平成 30 年度教育活動に関する保護者・職員アンケート（後期学校評価）

（学校経営・運営ビジョンの内容を評価の項目・観点とする）

学校評価委員会

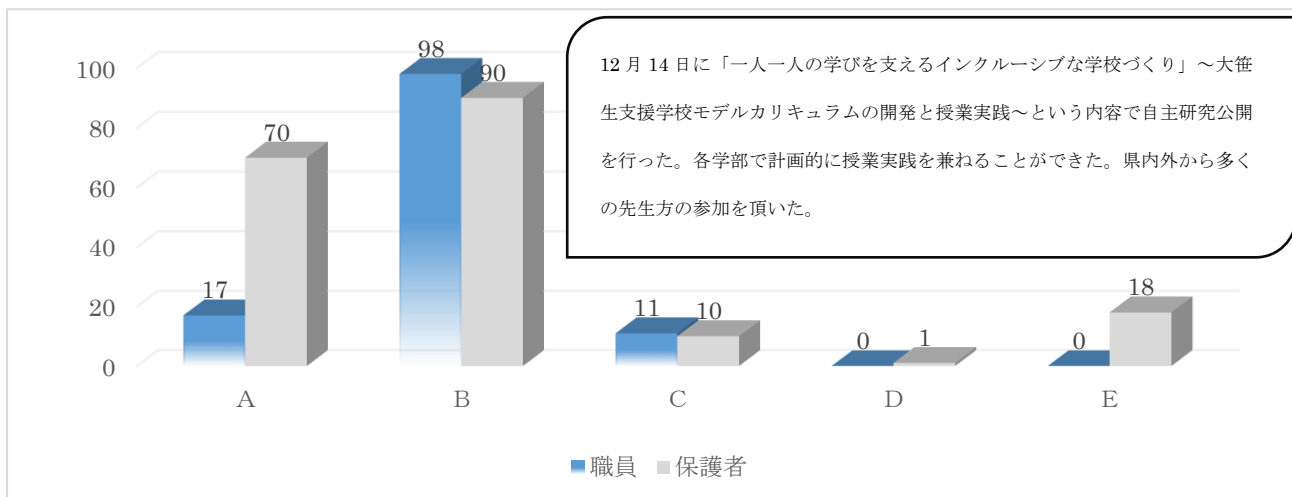
A・・・とてもよくできている B・・・よくできている C・・・あまりできていない D・・・できていない E・・・わからない

重点目標・重点事項

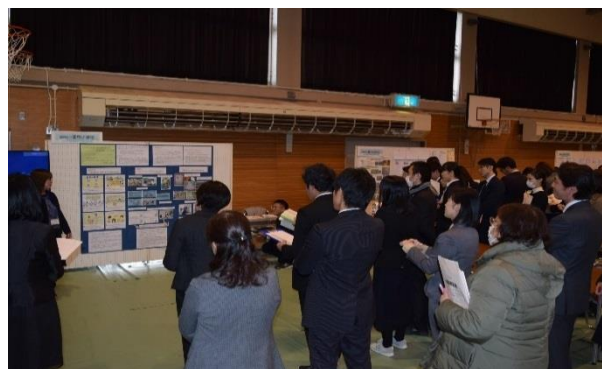
1【重点目標】

教育活動の質の向上と学習効果の最大化を図り、授業の改善・充実を図ります。

（授業が分りやすく、効果が上がっていると感じていますか。）



（自主公開研究会・全体会）



（ポスターセッション・小学校3校発表協力）



（講演会・植草学園大学。菊地先生）

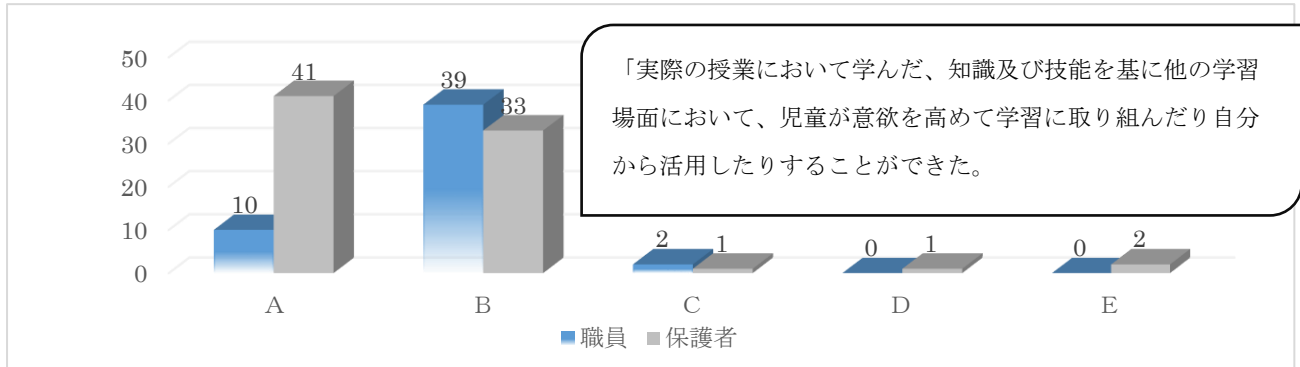


（カリキュラム・マネジメント分科会）

2 【小学部重点事項】

年間指導計画一覧を活用し、教科横断的な視点に基づき、習得した知識や技能を活用する授業づくりに努めます。

(年間指導計画一覧に各教科などの内容が記入され、活動内容が具体的に示されていますか。)



(1年・かみあそび)



(6年・郵便屋さん)



(3年・くわがた採り)

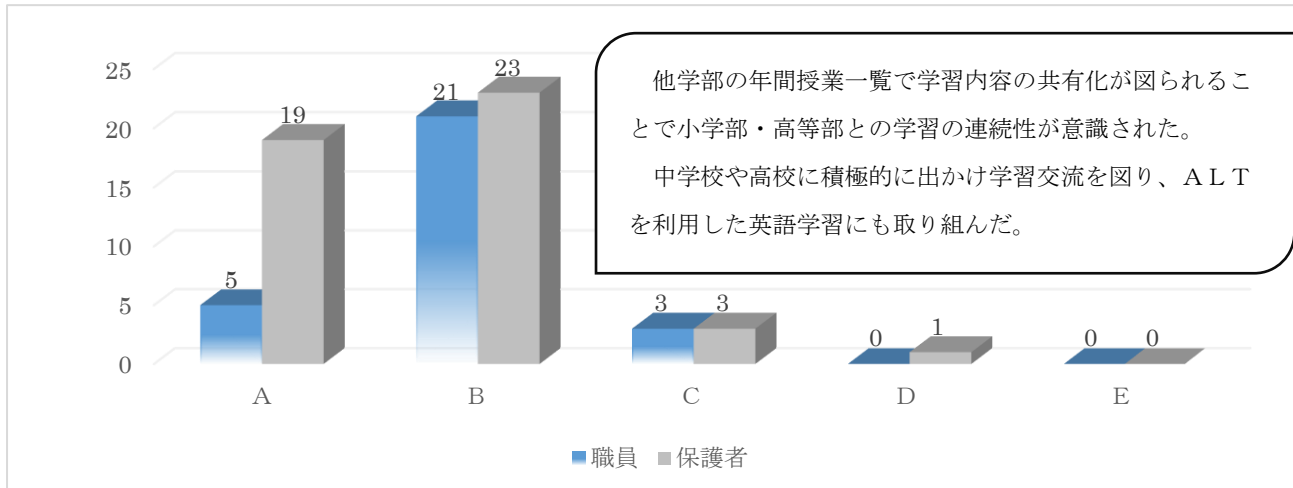


(4年・スライムで遊ぼう)

3 【中学部重点事項】

小学部や高等部とのつながりがもてるよう教育課程を編成し、各教科等の関連性を図りながら習得した知識や技能を活用する授業づくりに取り組みます。

(小学部の学習の積み上げや、高等部へのつながりを意識した活動になっていますか。)



(作業品販売・福島明成高校)



(福島市立平野中学校訪問)



(ALT授業・クリスマス授業)

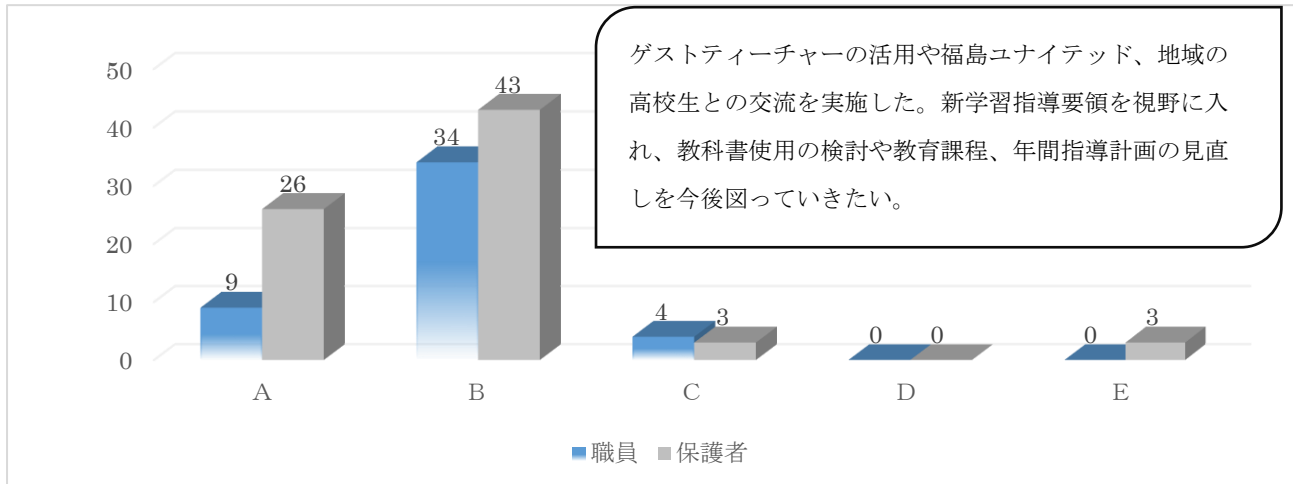


(校内実習)

4 【高等部重点事項】

地域や社会の状況を幅広く視野に入れ、社会参加・自立につながる新たな教育課程の創意工夫・開発に努め、年間計画の作成と活用を協働的に進め、指導内容と授業実践の充実に努めます。

(将来の自立のに向けた学習として、地域交流や社会参加につながる活動が積極的に行われていますか)



(3年・テーブルマナー講習会)



(芸術鑑賞教室 富国生命コンサート)



(1年・学習旅行 in 会津)

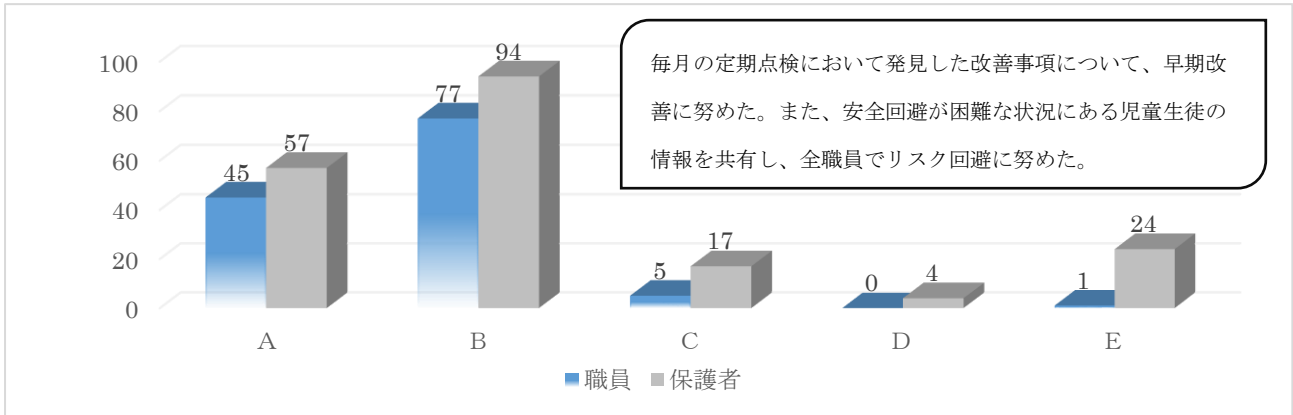


(2年・修学旅行 in 鎌倉)

安全・安心な学校づくり

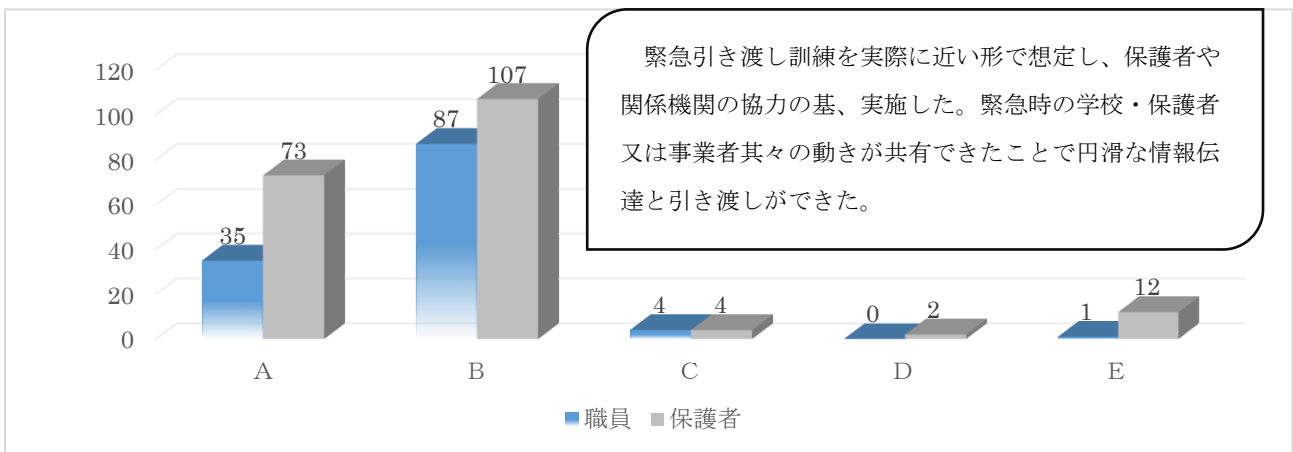
5 【学校事故の絶無】

定期的な施設設備の点検によって危険個所の早期改善を実施し、安全な学習環境の整備に努めます。



6 【防災及び防災教育の充実】

種々の災害を想定した訓練や研修を実施し、判断力や行動力を身に付け、緊急時において全職員が連携した対応をします。

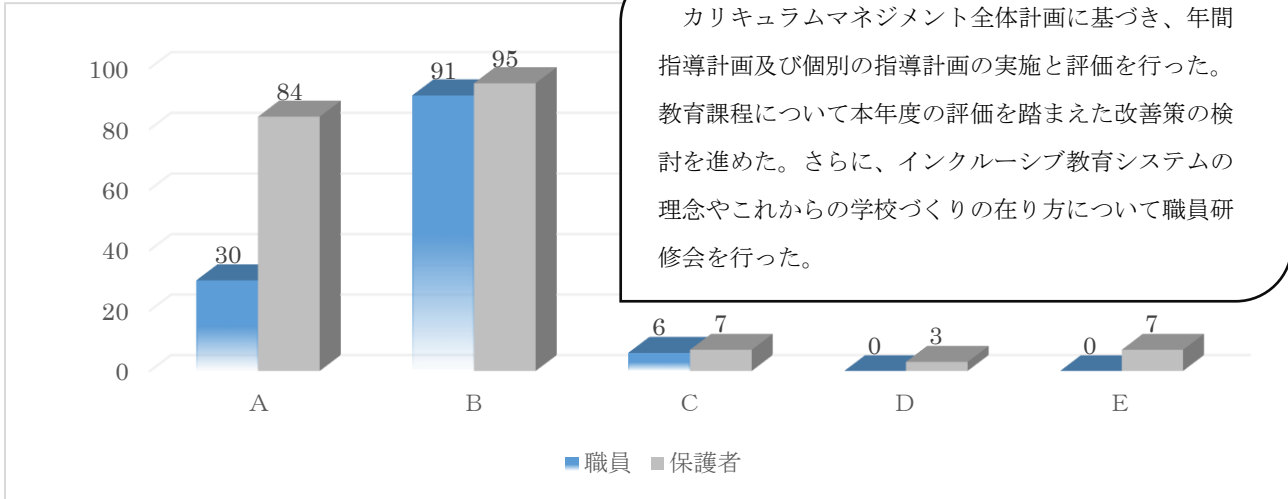


(緊急引き渡し訓練)

授業の充実と教員の専門性の向上

7 【学びを支えるインクルーシブな学校づくり】

年間指導計画一覧と個別の指導計画を活用し、児童生徒一人一人の多様な学び方に応じた指導と評価を行います。



カリキュラムマネジメント全体計画に基づき、年間指導計画及び個別の指導計画の実施と評価を行った。教育課程について本年度の評価を踏まえた改善策の検討を進めた。さらに、インクルーシブ教育システムの理念やこれからの学校づくりの在り方について職員研修会を行った。



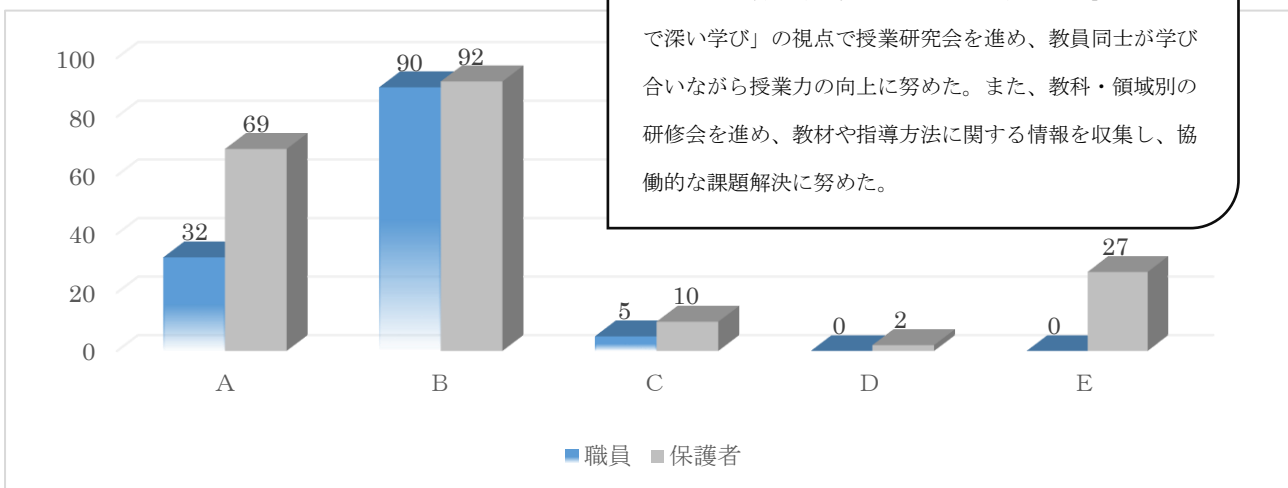
(インクルーシブな学校づくりを考える会)



(学部ケース検討会)

8 【障がいの特性に対応できる専門性向上】

授業研究会及び各教科・領域別の研修会を実施し、教員同士が学び合いながら障がいの特性に応じた授業力の向上を図ります。



新しい学習指導要領に対応した「資質・能力」「主体的で深い学び」の視点で授業研究会を進め、教員同士が学び合いながら授業力の向上に努めた。また、教科・領域別の研修会を進め、教材や指導方法に関する情報を収集し、協働的な課題解決に努めた。



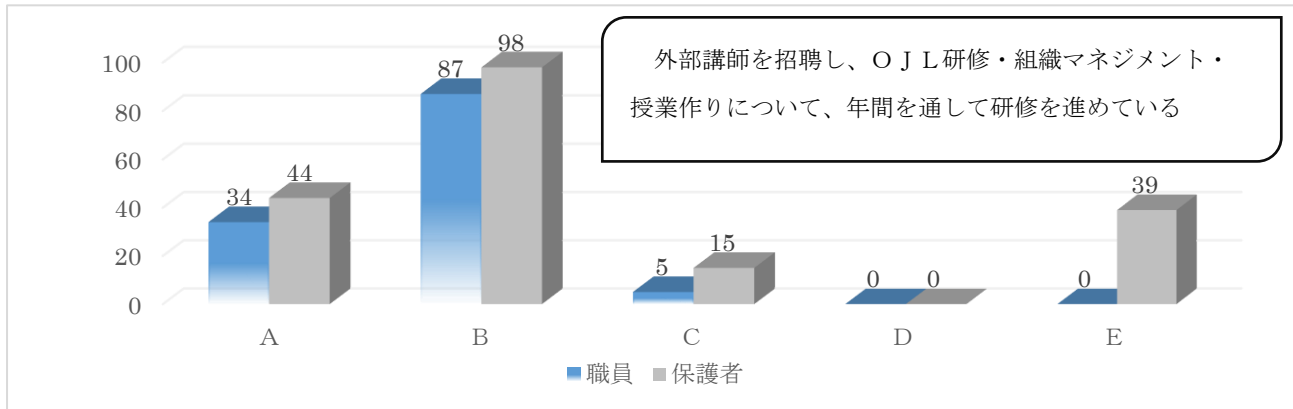
(新学習指導要領に対応した授業研究会)



(教科・領域別の研修会・自立活動)

9 【外部専門家の協力による教員の専門性の向上】

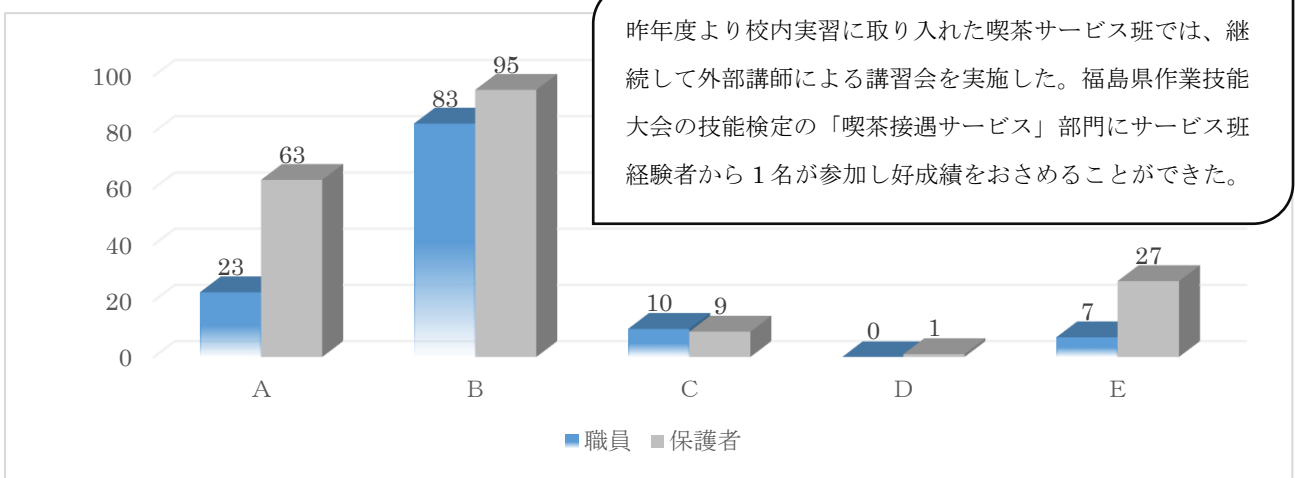
外部専門家の協力を得て、インクルーシブ教育システム、学習指導要領、組織マネジメント、個別の支援方法等の研修会を行い、教員個々の専門性と学校組織力の向上を図ります。



(個別事例検討会・宇都宮大学・岡澤先生)

10【一人一人のニーズに応える進路指導の充実】

積極的・計画的に職場開拓や関係機関との情報交換を行い、産業現場等における実習の校内実習の新しい作業種の開発や校外実習先の確保に努めます。



(福島県特別支援学校作業技能大会)
(喫茶接客サービス部門)



(ビルクリーニング部門)



(作業製品発表・木工班)

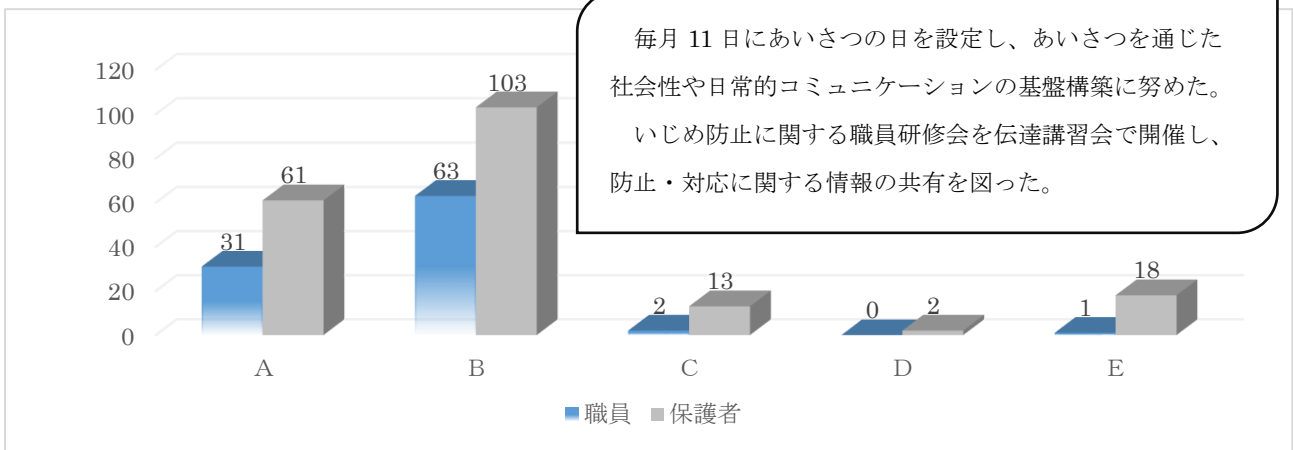


(作業製品発表・加工班)

心の安定と健康な身体

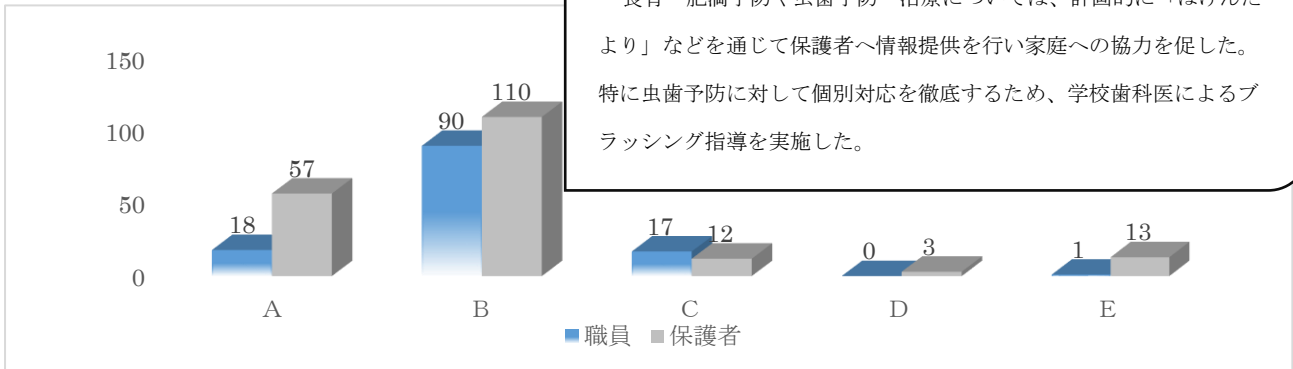
11 【いじめ防止対策の実施】

児童生徒・保護者にアンケートを実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応を行い、安心して学校生活を送れるようにします。



12 【生活指導の充実】

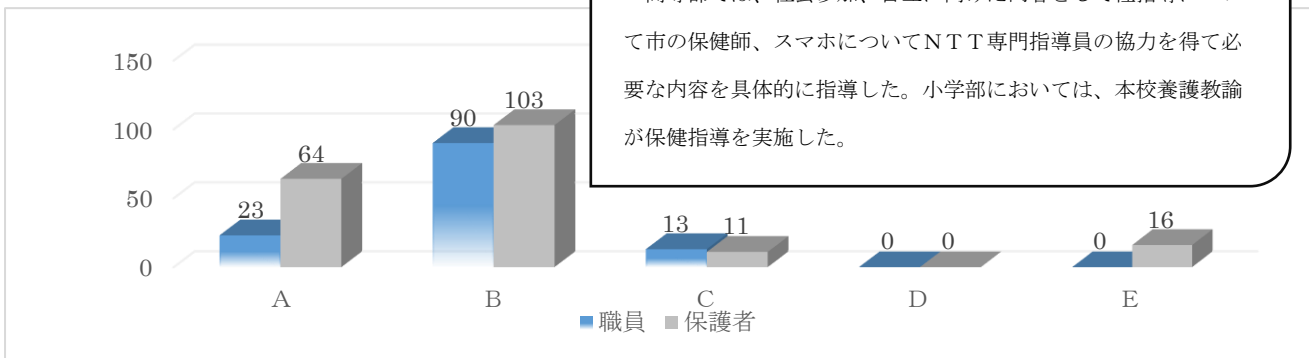
食育や肥満防止、虫歯予防について講習会の開催や資料での情報提供を行いながら、保護者と協力して支援できるようにします。



(歯科医によるブラッシング指導)

13 【生徒指導の改善・充実】

学部や児童生徒の発達段階に応じて、基本的な生活習慣・規範意識・性指導に関して段階的・系統的な指導を実施します。



高等部では、社会参加、自立に向けた内容として性指導について市の保健師、スマホについてNTT専門指導員の協力を得て必要な内容を具体的に指導した。小学部においては、本校養護教諭が保健指導を実施した。



(養護教諭による小3年保健指導)



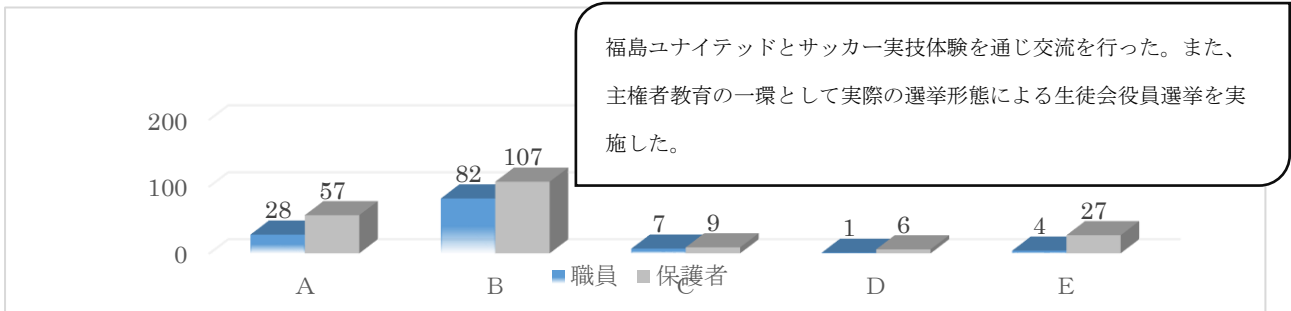
(環境温度計設置)



(エアコンルームランチ)

14 【生徒会活動・部活動の充実】

学校周辺地域の清掃活動を自主的に企画したり、福島ユナイテッドFCとのスポーツ交流に参加したり、障がい者スポーツ大会へ積極的に参加できるようにします。



福島ユナイテッドとサッカー実技体験を通じ交流を行った。また、主権者教育の一環として実際の選挙形態による生徒会役員選挙を実施した。



(福島ユナイテッド交流)

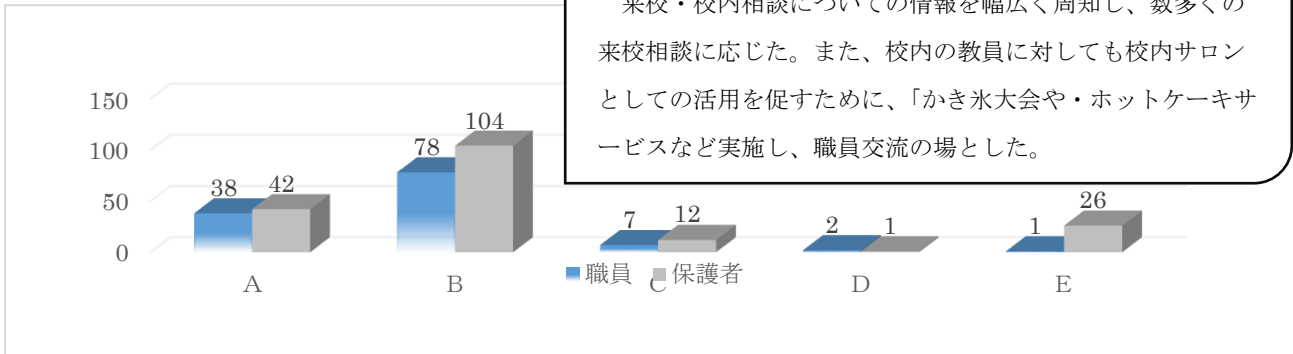


(高等部生徒会役員選挙)

特別支援教育のセンター的機能の充実

15【来校相談・校内相談の充実】

「地域支援センターささっこ」「地域サロン」としてセンター機能が強化され、相談機能や保護者・地域住民との交流の場を充実させます。



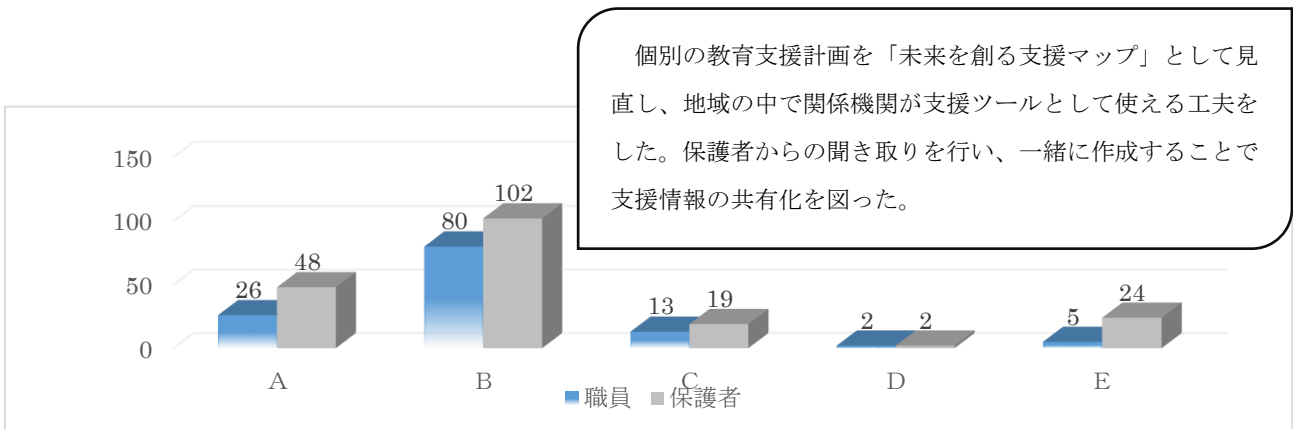
(地域サロン・チームケース会)



(職員かき氷大会)

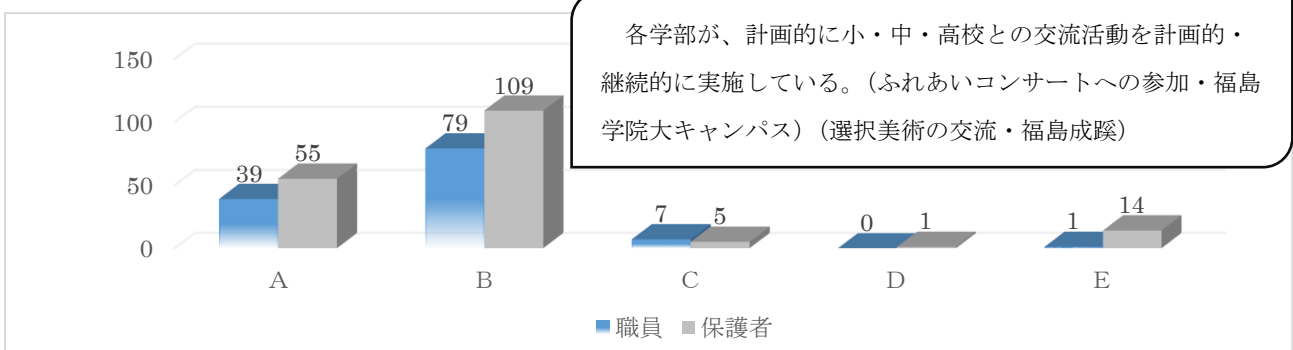
16【合理的配慮の提供】

「未来を創る支援マップ」を作成し、福祉サービス利用の状況や合理的配慮の提供について保護者・教職員で共有します。



17 【交流及び共同学習の充実】

年間を通して、地域の小学校や中学校・高等学校との計画的な学校間交流及び共同学習を実施します。



各学部が、計画的に小・中・高校との交流活動を計画的・継続的に実施している。(ふれあいコンサートへの参加・福島学院大キャンパス)(選択美術の交流・福島成蹊)



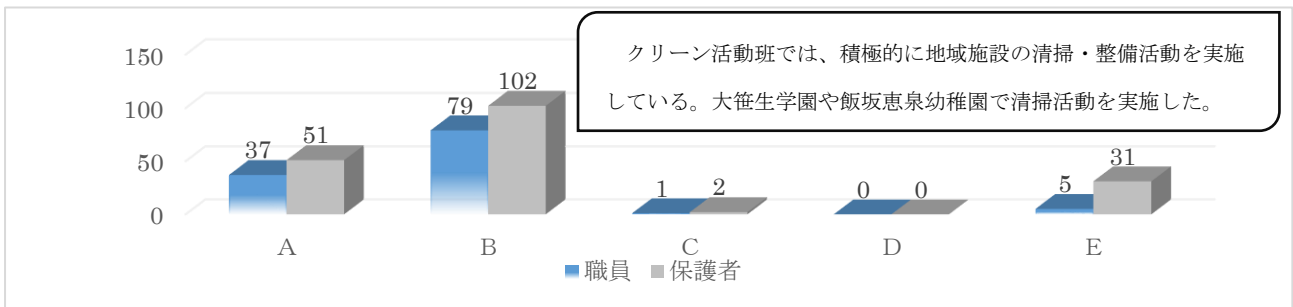
(高等部・成蹊高校交流)



(とっておきの音楽祭)

18 【地域交流・地域貢献の推進】

高等部クリーン活動班では、地域の学習センター等の清掃に取り組んだり、教育支援部で特別支援教育セミナーを実施したりして特別支援教育の理解・啓発に努めます。



クリーン活動班では、積極的に地域施設の清掃・整備活動を実施している。大笹学園や飯坂恵泉幼稚園で清掃活動を実施した。



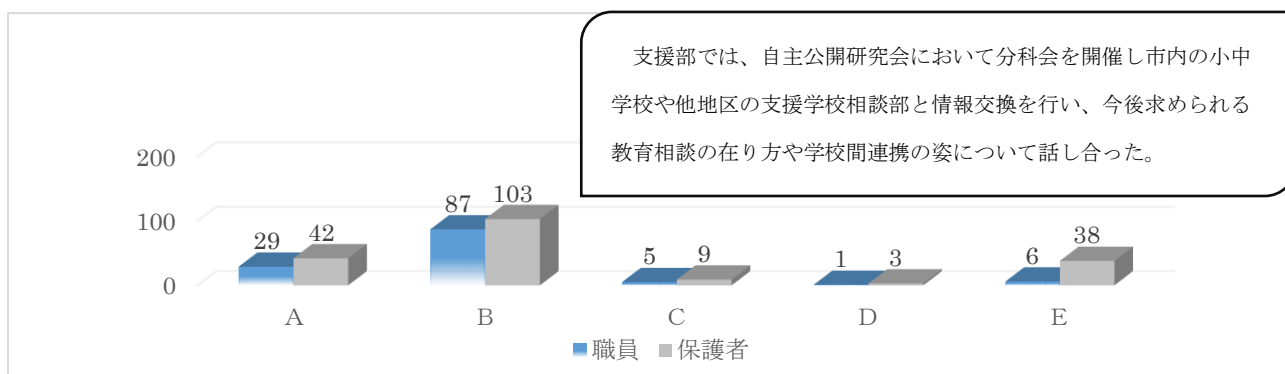
(飯坂恵泉幼稚園・ボランティア清掃)



(学習センター・ゲストティーチャー・高等部よさこい)

19【学校間連携の充実】

地域の保育所・幼稚園・小・中学校と連携し、養育や指導、校内支援体制に関する相談・支援を行います。



(チームケース会)



(小学校教育相談)